



第15回 エイブル空間デザインコンペティション
壁と会話する WALL ROOM

WALL FOREST

コロンビア大学大学院 GSAPP
原田爽一朗



このワンルームには10枚の壁が、部屋を仕切ることなく並べられている。それぞれの壁は入り口から奥に向かって徐々にその幅を変化させる。入口付近の壁の幅は狭く、その分空間も広々としていて、部屋の奥の方では逆に幅は広くなり、空間はプライベートに感じられる。

このなかで、住まい手は自ら適当な場所を探して家具を置いたり、片付けたり、適度にものを散らかしたりする。それは木々の生い茂る森の分け入り、自分が迷わないように道標にパンを落としていくようなことなのかもしれない。

せわしない時代を生きる多動的な私たちに必要なのは、空間を仕切る機能的な壁より、空間をゆるやかにつなぐ機能なき壁なのだろう。



Plan S=1:50@A3

